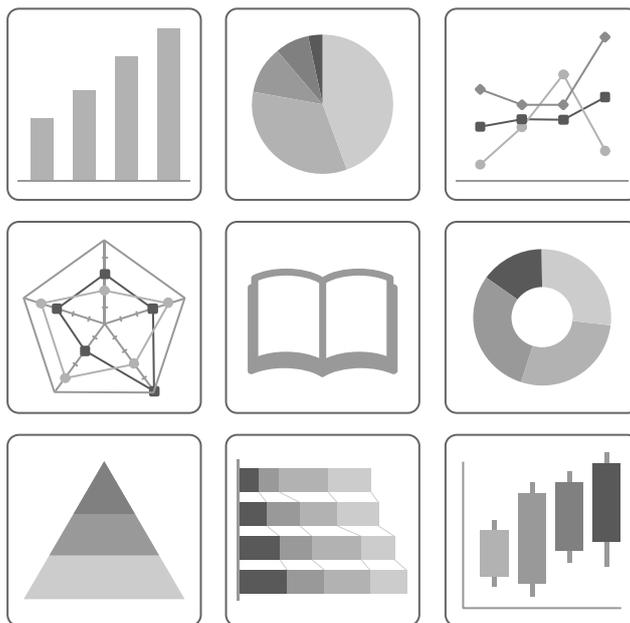
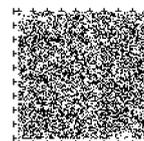


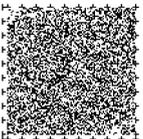
茨木市
人権問題に関する市民意識調査
報告書
【概要版】



令和4年3月

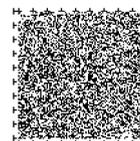
茨木市

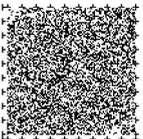




目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	回答者の属性	1
II	調査結果	2
1	人権問題や差別について	2
2	さまざまな人権問題について	14
	(1) 女性の人権について.....	14
	(2) 子どもの人権について.....	15
	(3) 高齢者の人権について.....	16
	(4) 障害者の人権について.....	17
	(5) 部落差別について.....	18
	(6) 外国人の人権について.....	20
	(7) インターネットにおける人権について.....	21
	(8) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について.....	22
	(9) さまざまな人権問題について.....	23





I 調査の概要

1 調査の目的

社会情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、「第2次茨木市人権施策推進計画」の中間見直しの基礎資料とすることを目的として、調査を実施しました。

2 調査対象

茨木市在住の18歳以上の方の中から2,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和3年11月11日から令和3年11月22日

4 調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによる回答

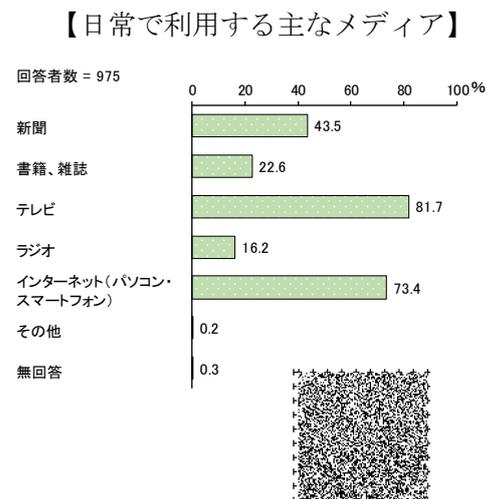
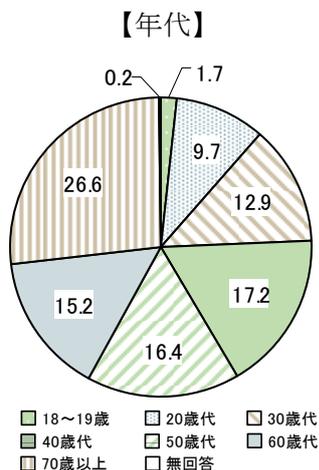
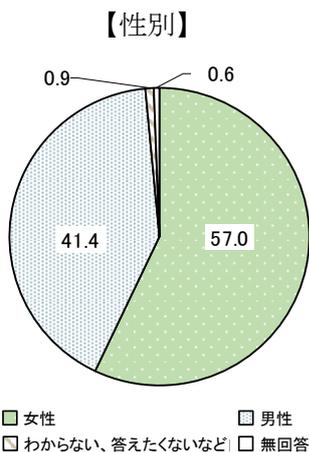
5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	975通	48.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 回答者の属性

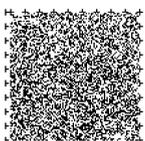


II 調査結果

1 人権問題や差別について

問 あなたは、以下のことについて、人権上どの程度問題があると思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

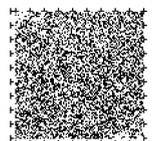
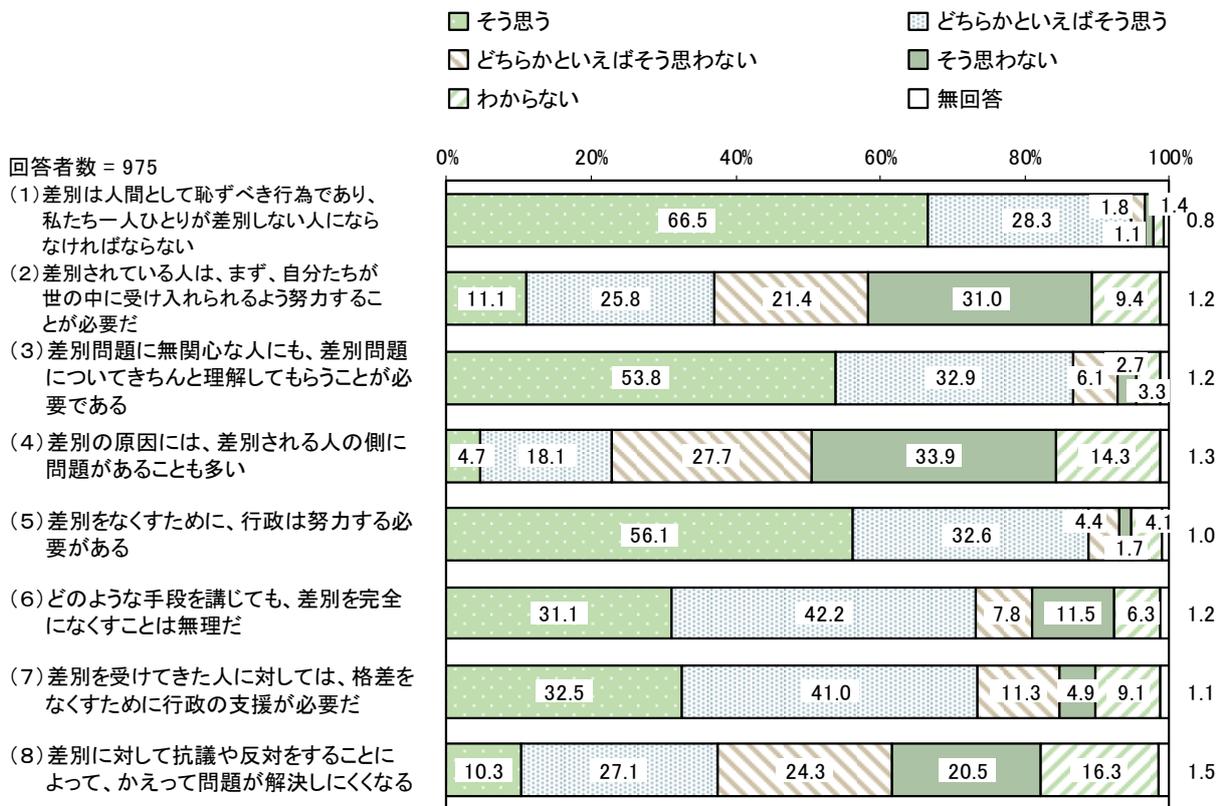
『(13) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること』『(14) インターネット上のフェイク(偽)ニュースによって、被害にあうこと』で「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」を合わせた「問題あり」の割合が97.3%と高くなっています。『(17) 野宿生活者(ホームレス)が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること』で「どちらかといえば問題なし」と「問題なし」を合わせた「問題なし」の割合が53.2%と高くなっています。



問 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならない』で94.8%と最も高く、次いで『(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある』で88.7%となっています。

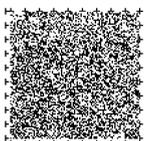
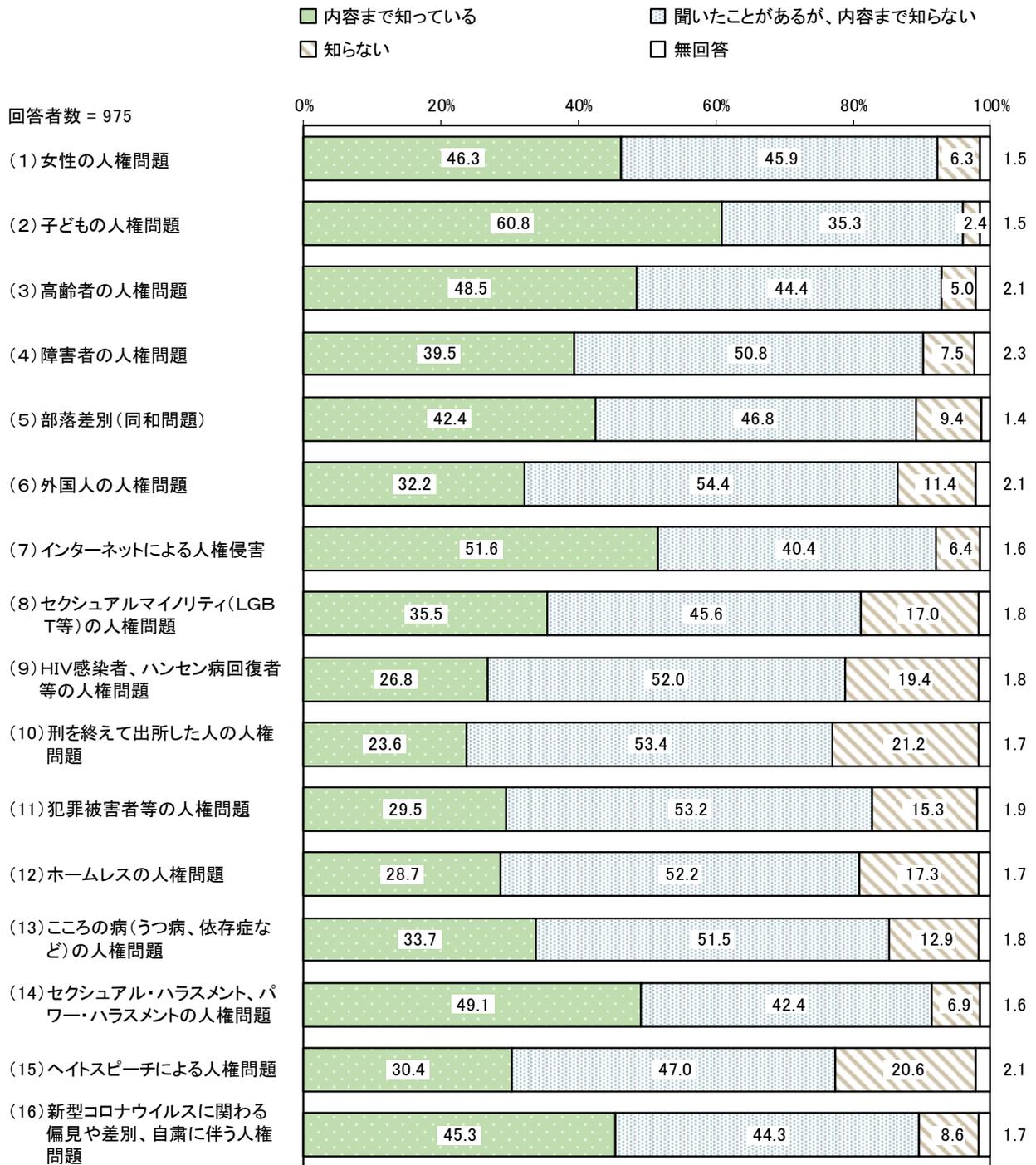
一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、『(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』で61.6%と最も高く、次いで『(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』で52.4%となっています。



問 あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。(A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○)

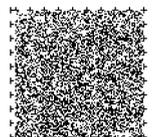
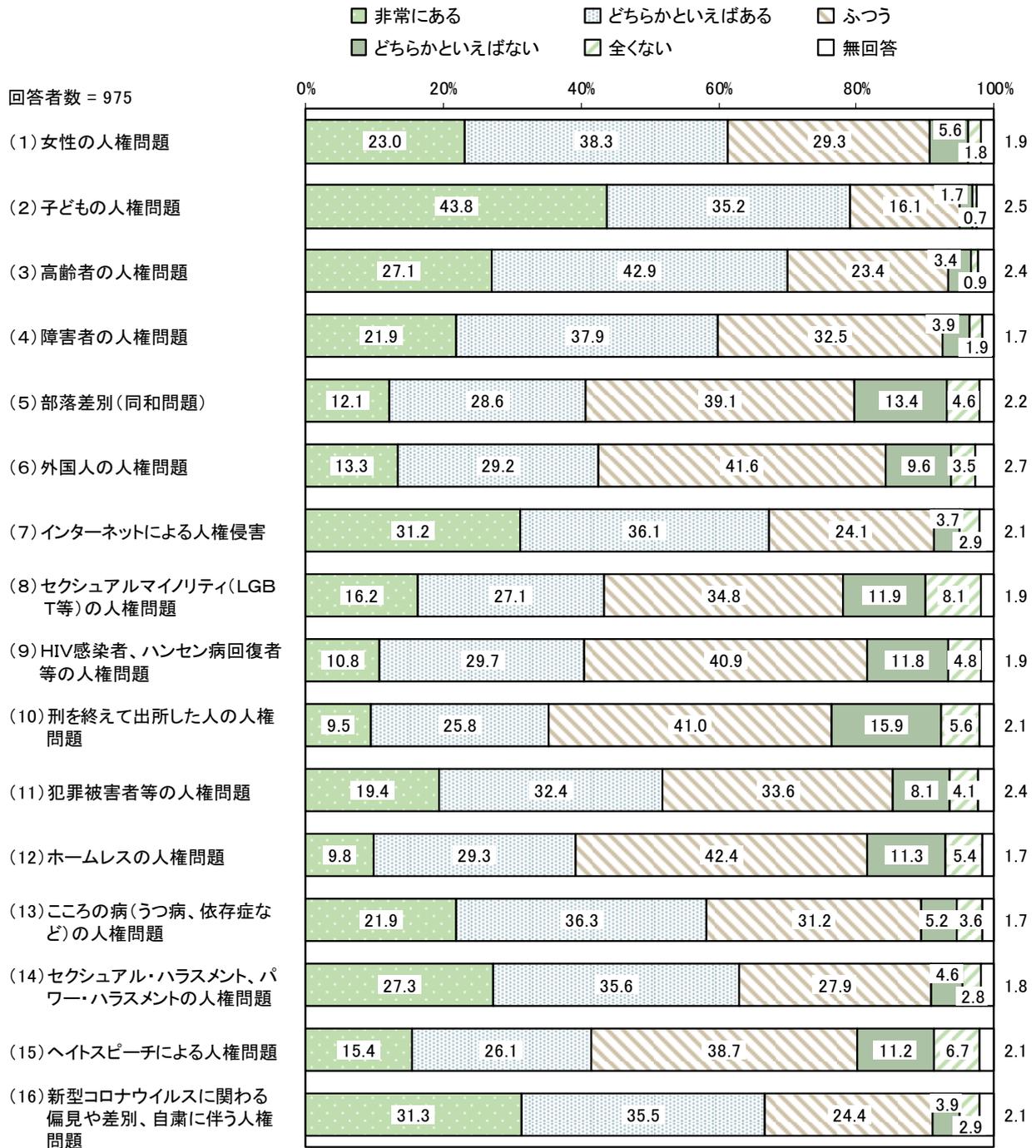
A. 認知度

「内容まで知っている」の割合は、『(2)子どもの人権問題』で60.8%と最も高く、次いで『(7)インターネットによる人権侵害』で51.6%となっています。



B. 関心度

「非常にある」と「どちらかといえばある」を合わせた“ある”の割合は、『(2) 子どもの人権問題』で79.0%と最も高く、次いで『(3) 高齢者の人権問題』で70.0%となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 人権問題の認知度と関心度の得点化

16 項目について、「認知度」と「関心度」を選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■認知度・関心度の得点化の手順■

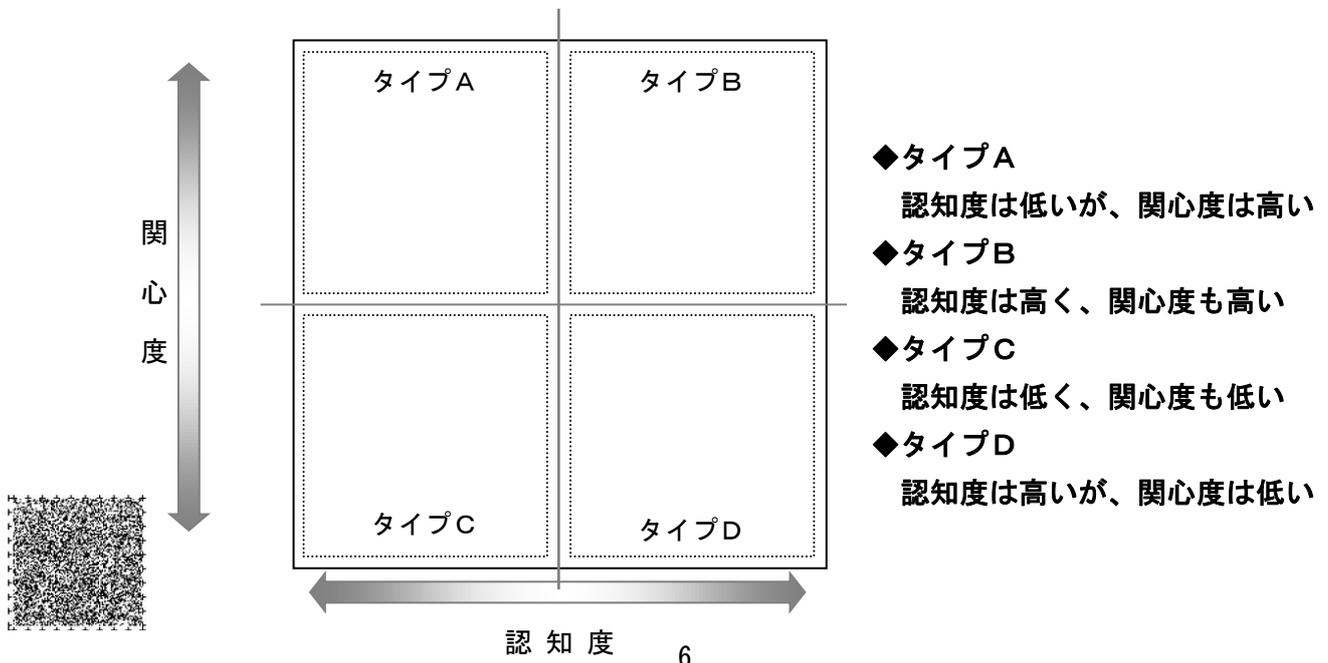
認知度	得点	関心度	得点
内容まで知っている	→ 2点	非常にある	→ 2点
		どちらかといえばある	→ 1点
聞いたことがあるが、内容まで知らない	→ 0点	ふつう	→ 0点
		どちらかといえばない	→ -1点
知らない	→ -2点	全くない	→ -2点
無回答	→ 計算対象外	無回答	→ 計算対象外

■得点の算出式■

<p>認知度の算出式</p> <p>2点×「内容まで知っている」の回答数 0点×「聞いたことがあるが、内容まで知らない」の回答数 -2点×「知らない」の回答数</p>	<p>合計／無回答を除く回答数</p>
<p>関心度の算出式</p> <p>2点×「非常にある」の回答数 1点×「どちらかといえばある」の回答数 0点×「ふつう」の回答数 -1点×「どちらかといえばない」の回答数 -2点×「全くない」の回答数</p>	

(2) ポートフォリオ分析による認知度・関心度の評価

各項目の認知度・関心度の得点の関係について、認知度・関心度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し分析しました。



●人権問題のポートフォリオ分析

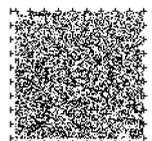
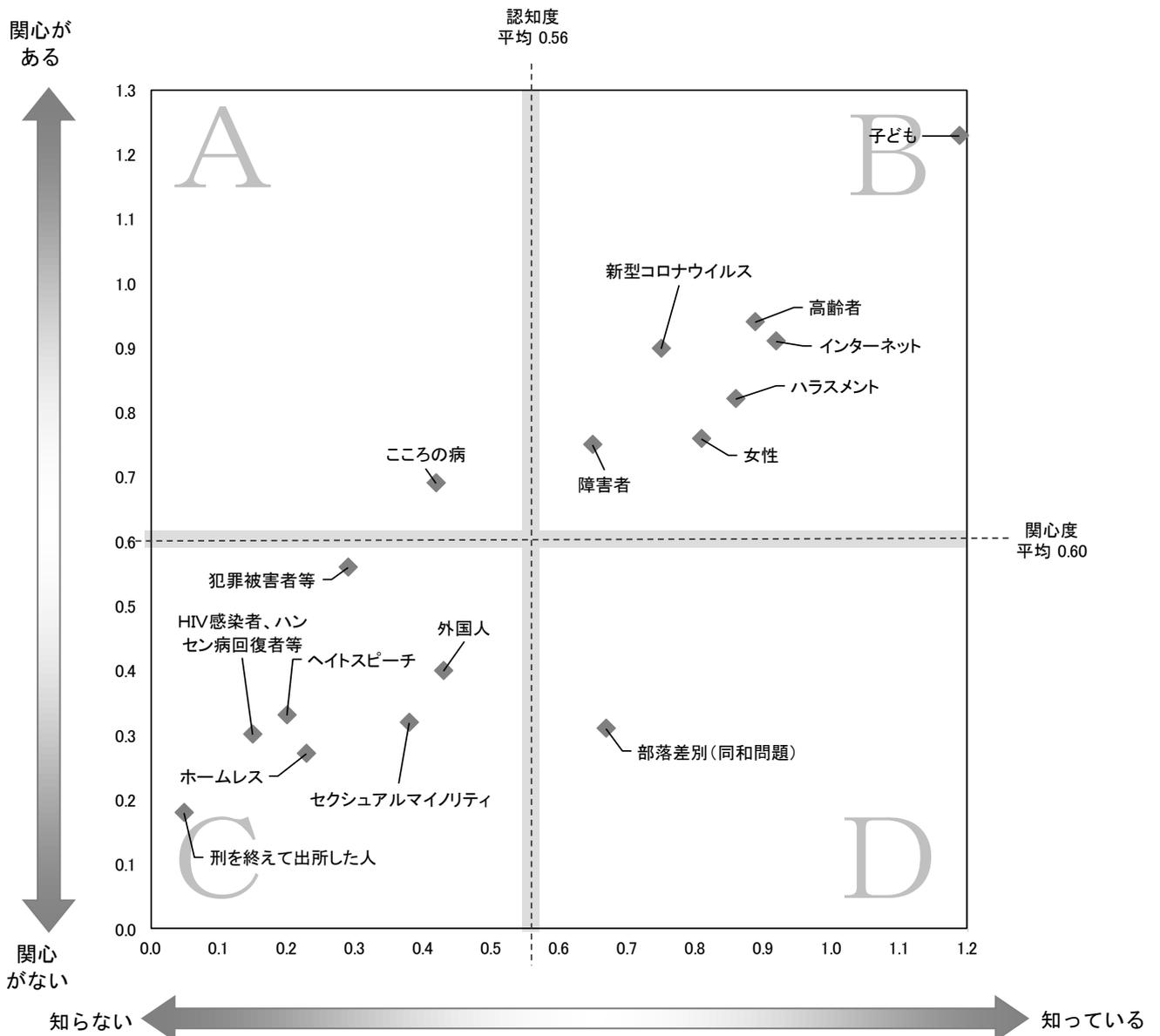
【全 体】

認知度は低いですが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『女性』『子ども』『高齢者』『障害者』『インターネット』『ハラスメント』『新型コロナウイルス』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』『セクシュアルマイノリティ』『HIV感染者、ハンセン病回復者等』『刑を終えて出所した人』『犯罪被害者等』『ホームレス』『ヘイトスピーチ』が該当しています。

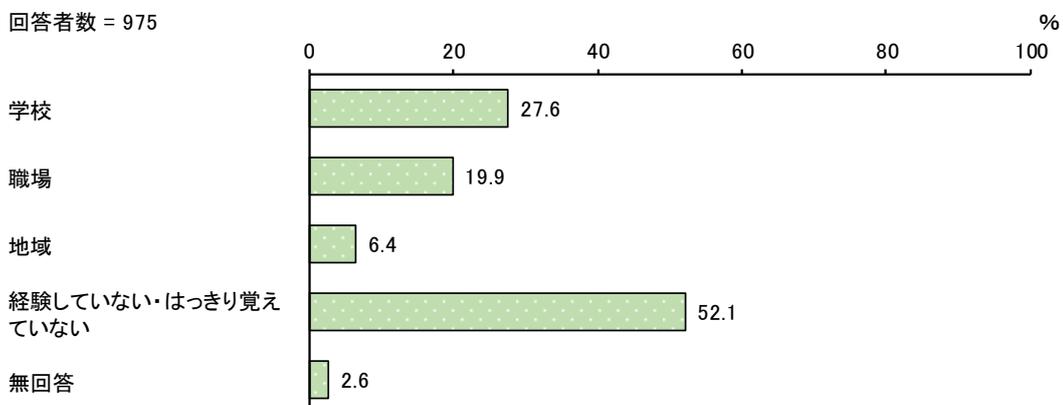
認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』が該当しています。



問 あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。(それぞれ〇はいくつでも)

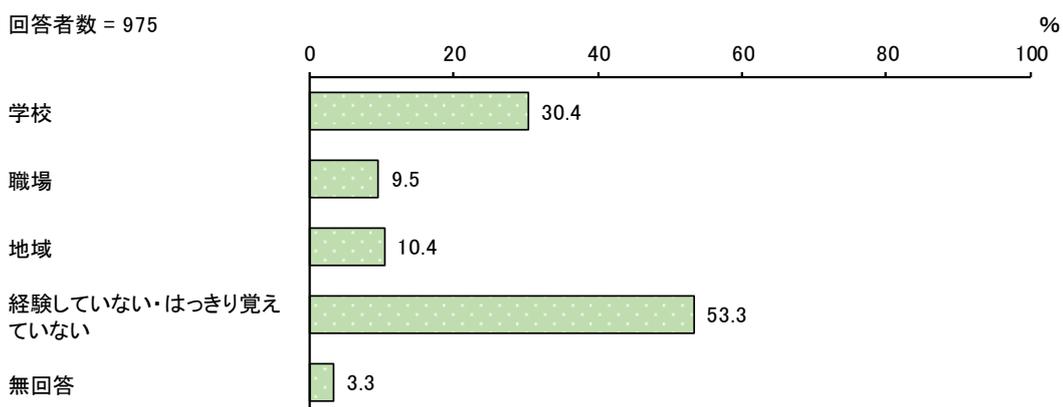
1 女性・男女共同参画

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が52.1%と最も高く、次いで「学校」の割合が27.6%、「職場」の割合が19.9%となっています。



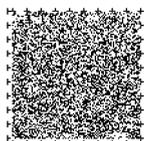
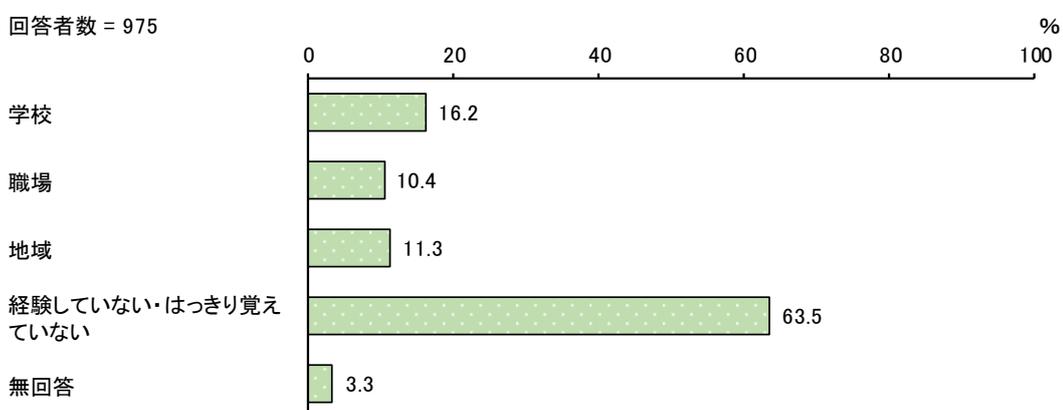
2 子ども

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「学校」の割合が30.4%、「地域」の割合が10.4%となっています。



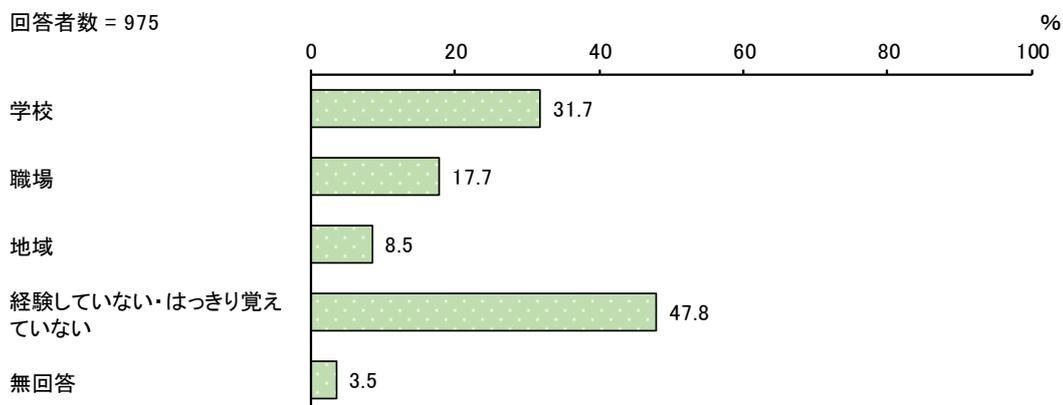
3 高齢者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が63.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が16.2%、「地域」の割合が11.3%となっています。



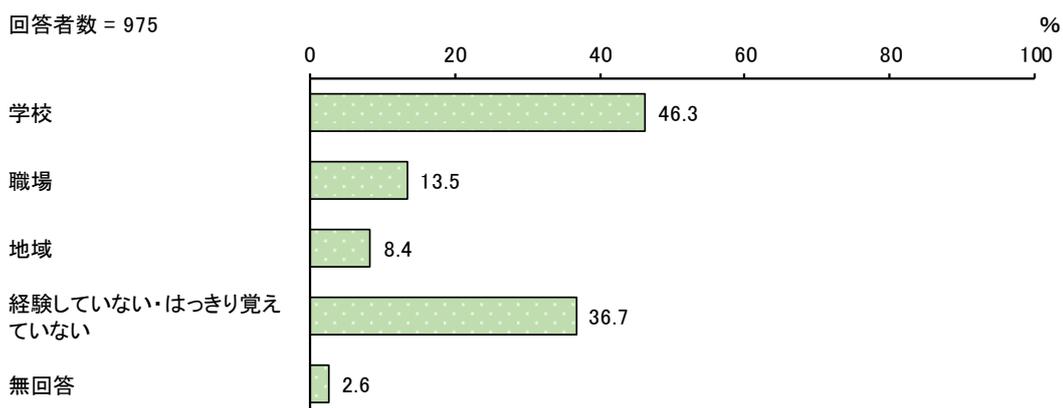
4 障害者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が47.8%と最も高く、次いで「学校」の割合が31.7%、「職場」の割合が17.7%となっています。



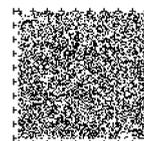
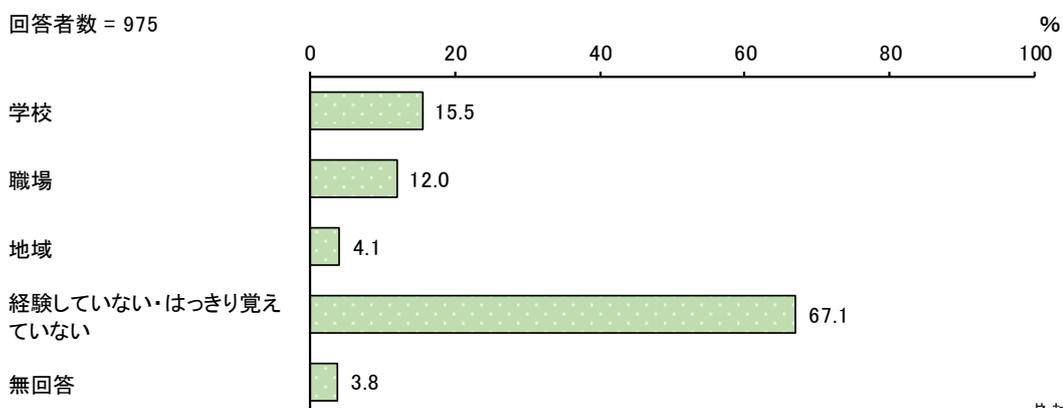
5 部落差別(同和問題)

「学校」の割合が46.3%と最も高く、次いで「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が36.7%、「職場」の割合が13.5%となっています。



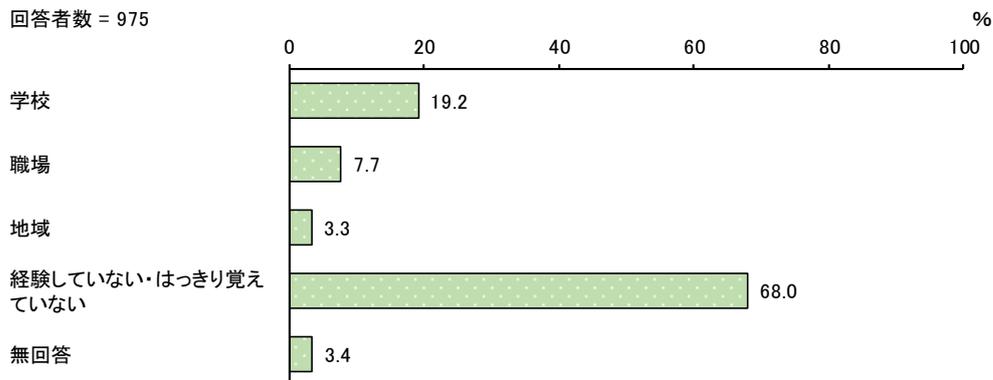
6 外国人

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が67.1%と最も高く、次いで「学校」の割合が15.5%、「職場」の割合が12.0%となっています。



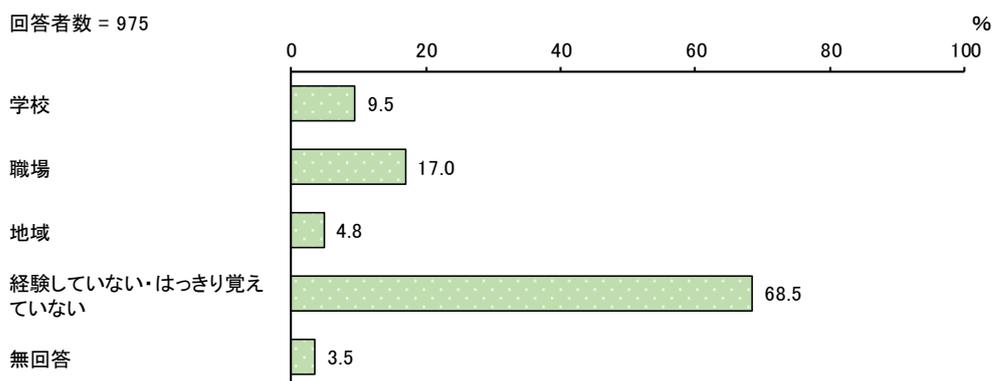
7 HIV感染者・ハンセン病回復者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が68.0%と最も高く、次いで「学校」の割合が19.2%となっています。



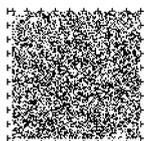
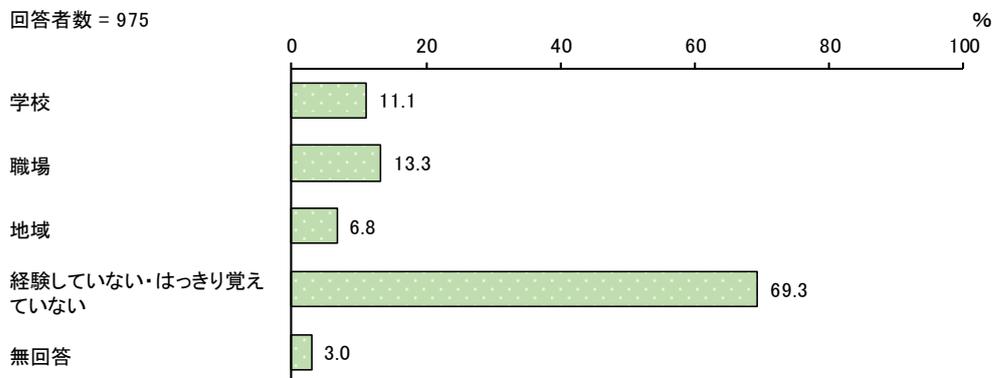
8 セクシュアルマイノリティ(LGBT等)

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が68.5%と最も高く、次いで「職場」の割合が17.0%となっています。



9 インターネットによる人権侵害

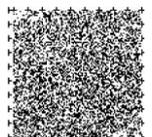
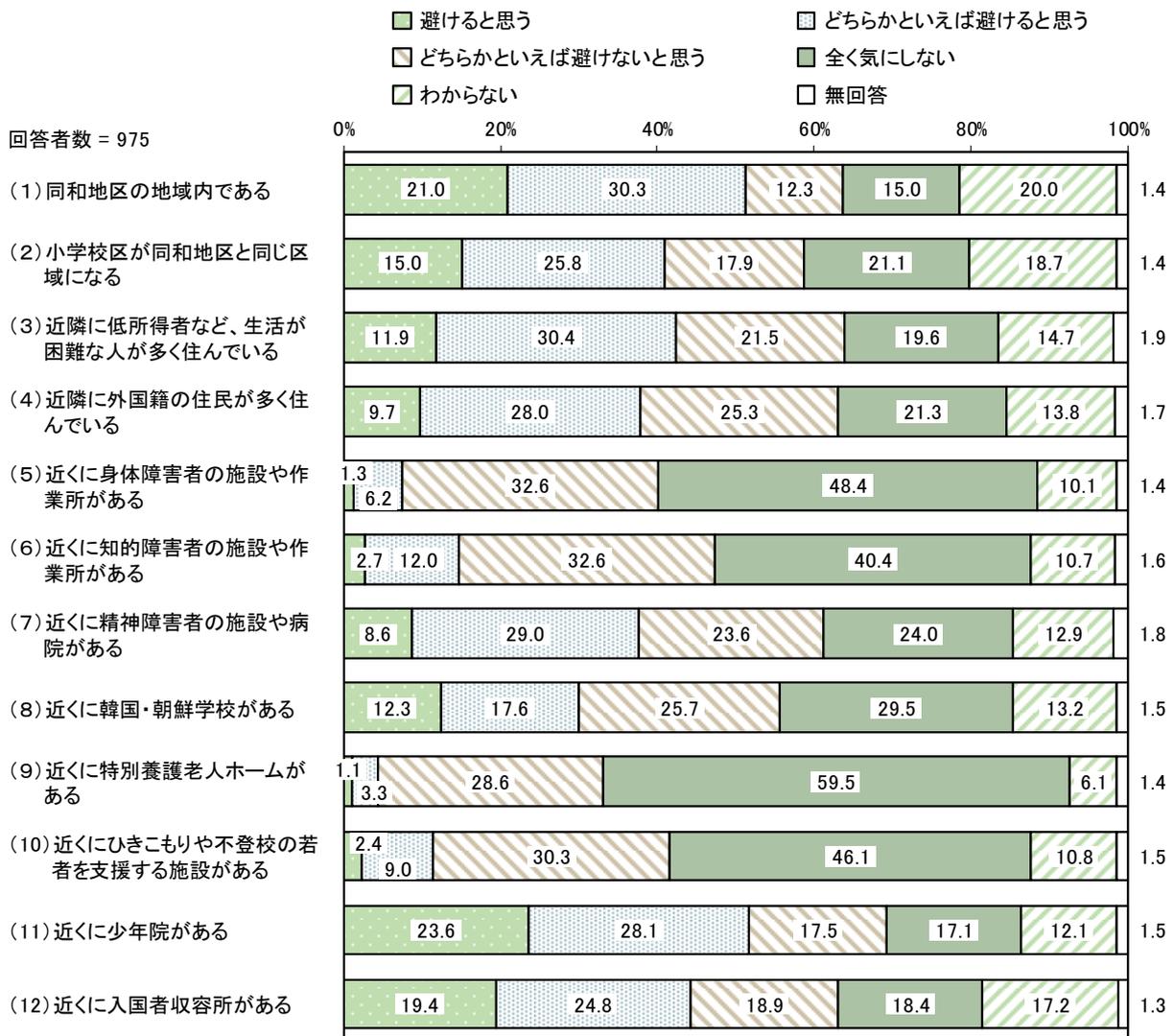
「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が69.3%と最も高く、次いで「職場」の割合が13.3%、「学校」の割合が11.1%となっています。



問 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

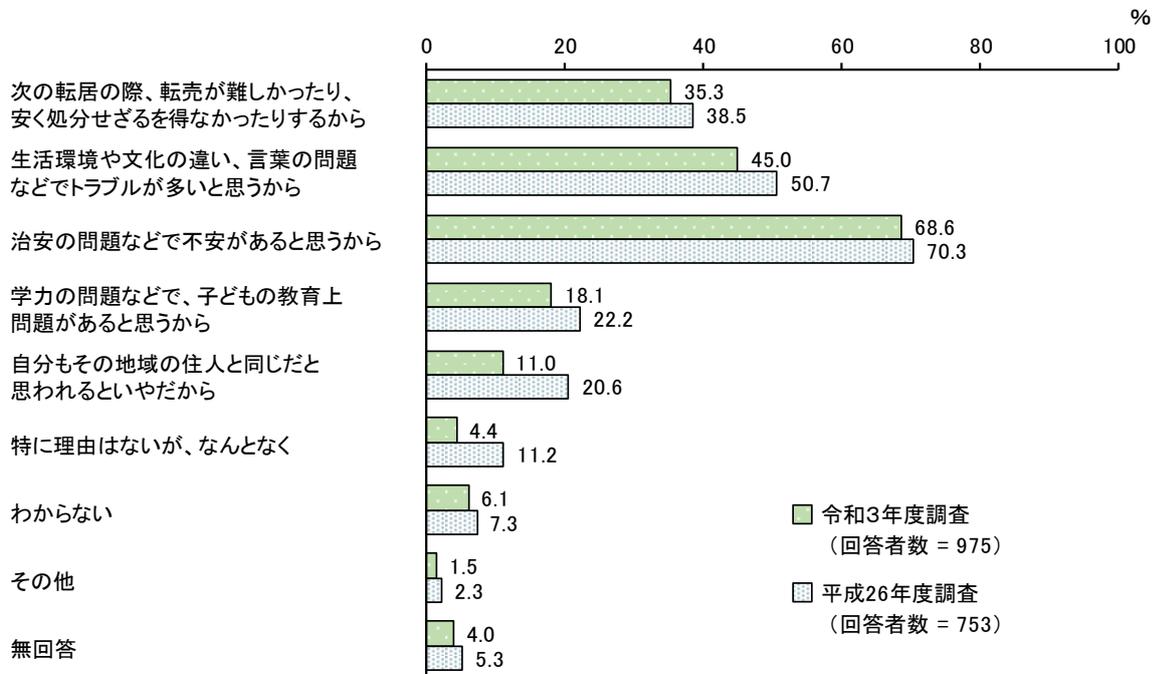
「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”の割合は、『(11) 近くに少年院がある』で 51.7%と最も高く、次いで『(1) 同和地区の地域内である』で 51.3%となっています。

一方、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」をあわせた“避けないと思う”の割合は、『(9) 近くに特別養護老人ホームがある』での割合が 88.1%と最も高く、次いで『(5) 近くに身体障害者の施設や作業所がある』で 81.0%となっています。



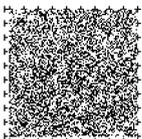
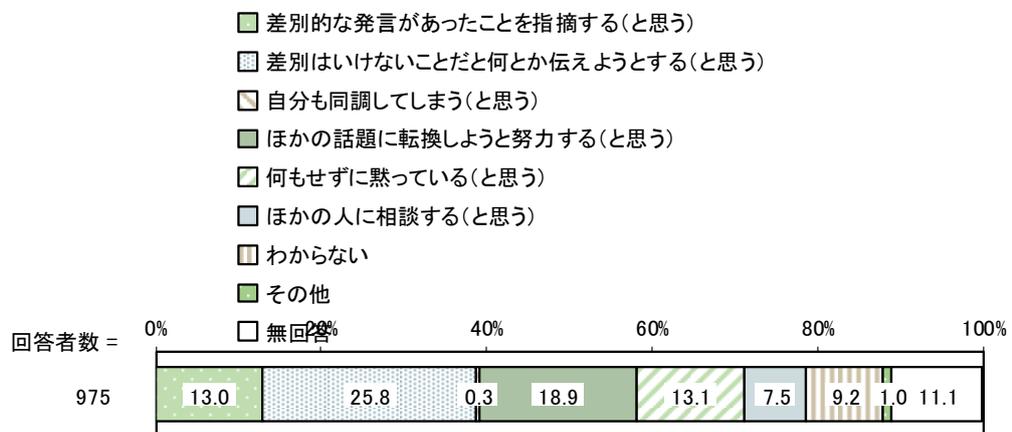
問 住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。
(〇はいくつでも)

「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が68.6%と最も高く、次いで「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」の割合が45.0%、「次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」の割合が35.3%となっています。
平成26年度調査と比べると、大きな差異はみられません。



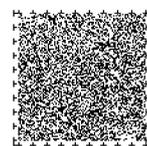
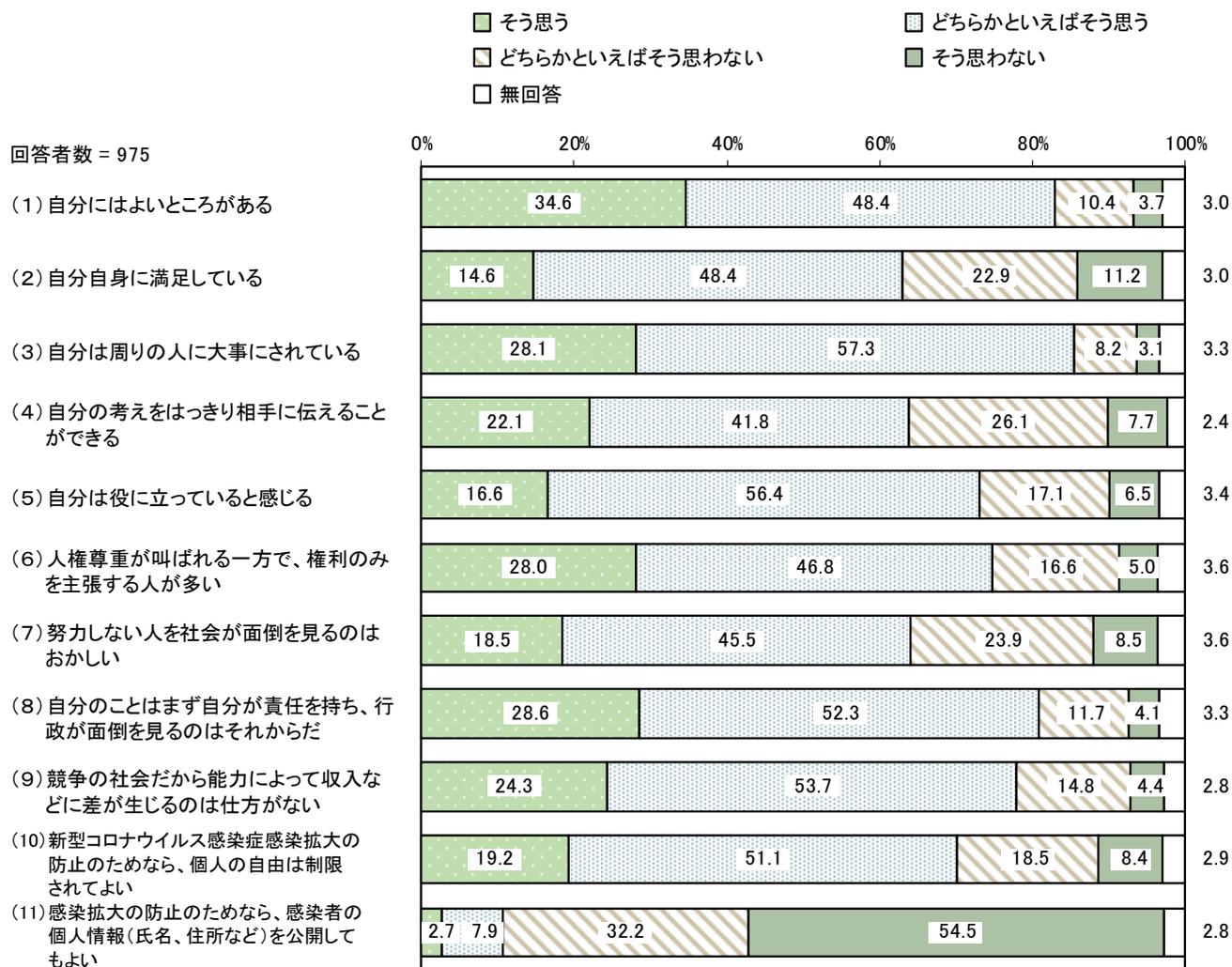
問 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどのように思いますか。(あてはまるもの1つに〇)

「差別はいけないことだと何とか伝えようとする(と思う)」の割合が25.8%と最も高く、次いで「ほかの話題に転換しようとする(と思う)」の割合が18.9%、「何もせずに黙っている(と思う)」の割合が13.1%となっています。



問 あなたが、日常生活の中で感じている事についてお答えください
(それぞれあてはまるもの1つに○)

『(3) 自分は周りの人に大事にされている』で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が 85.4%、『(11) 感染拡大の防止のためなら、感染者の個人情報(氏名、住所など)を公開してもよい』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“思わない”の割合が 86.7%、となっています。



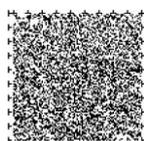
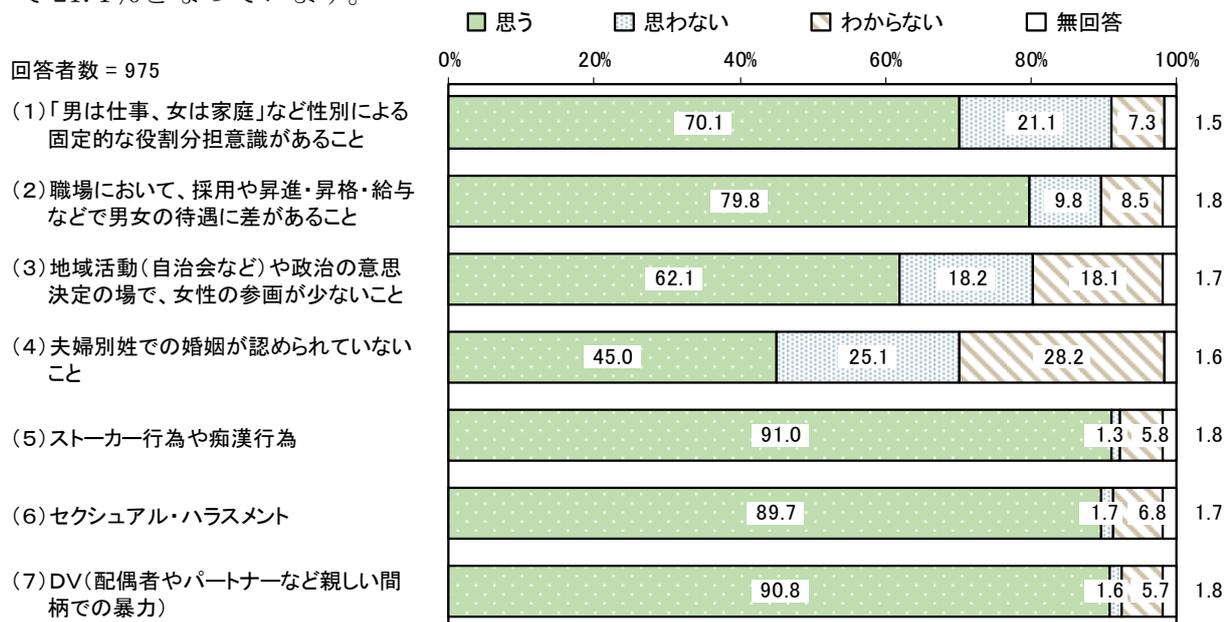
2 さまざまな人権問題について

(1) 女性の人権について

問 女性の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は、『(5) ストーカー行為や痴漢行為』で91.0%と最も高く、次いで『(7) DV(配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力)』で90.8%、『(6) セクシュアル・ハラスメント』で89.7%となっています。

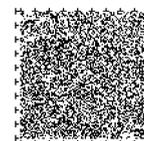
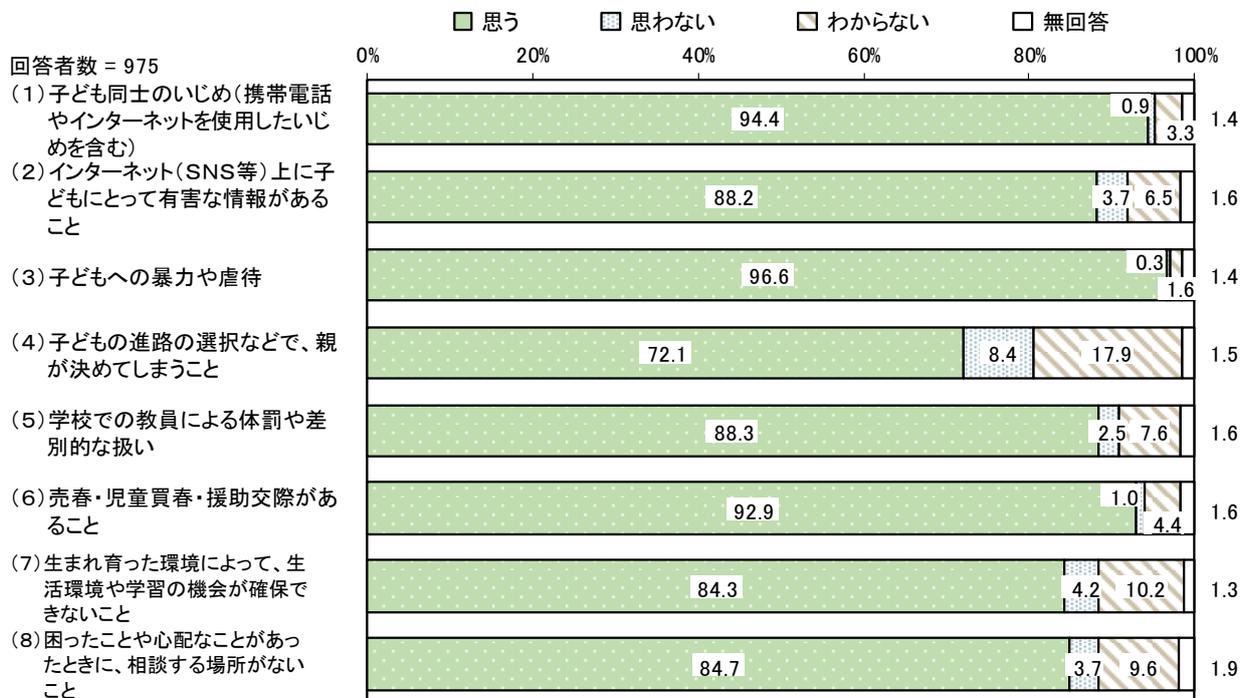
一方、『思わない』の割合は『(4) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』で25.1%と最も高く、次いで『(1) 「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』で21.1%となっています。



(2) 子どもの人権について

問 子どもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(3) 子どもへの暴力や虐待』で96.6%と最も高く、次いで『(1) 子ども同士のいじめ(携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む)』で94.4%となっています。

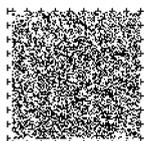


(3) 高齢者の人権について

問 高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(3) 悪徳商法の被害が多いこと (振り込め詐欺を含む)』で88.3%と最も高く、次いで『(6) 孤立する高齢者が増えていること』で82.6%となっています。

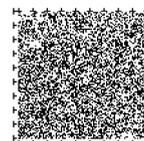
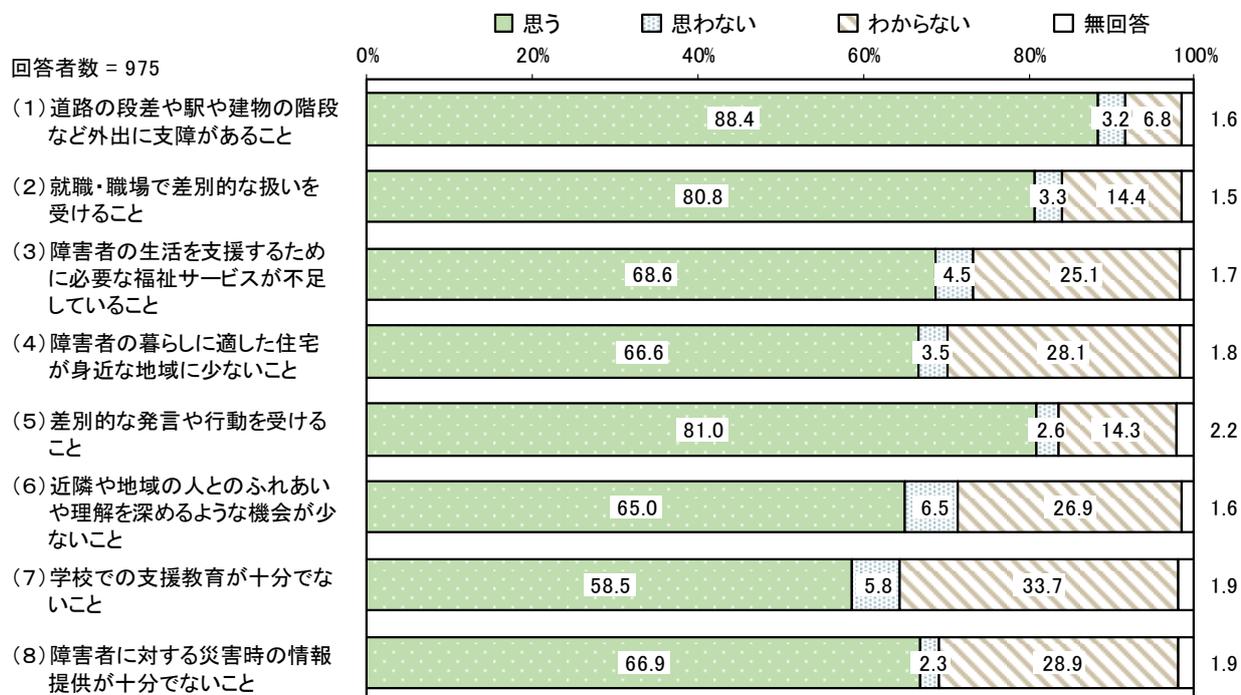
「思わない」の割合は『(5) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと』で11.1%と最も高くなっています。



(4) 障害者の人権について

問 障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(1) 道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること』で88.4%と最も高く、次いで『(5) 差別的な発言や行動を受けること』で81.0%となっています。

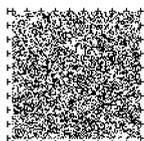
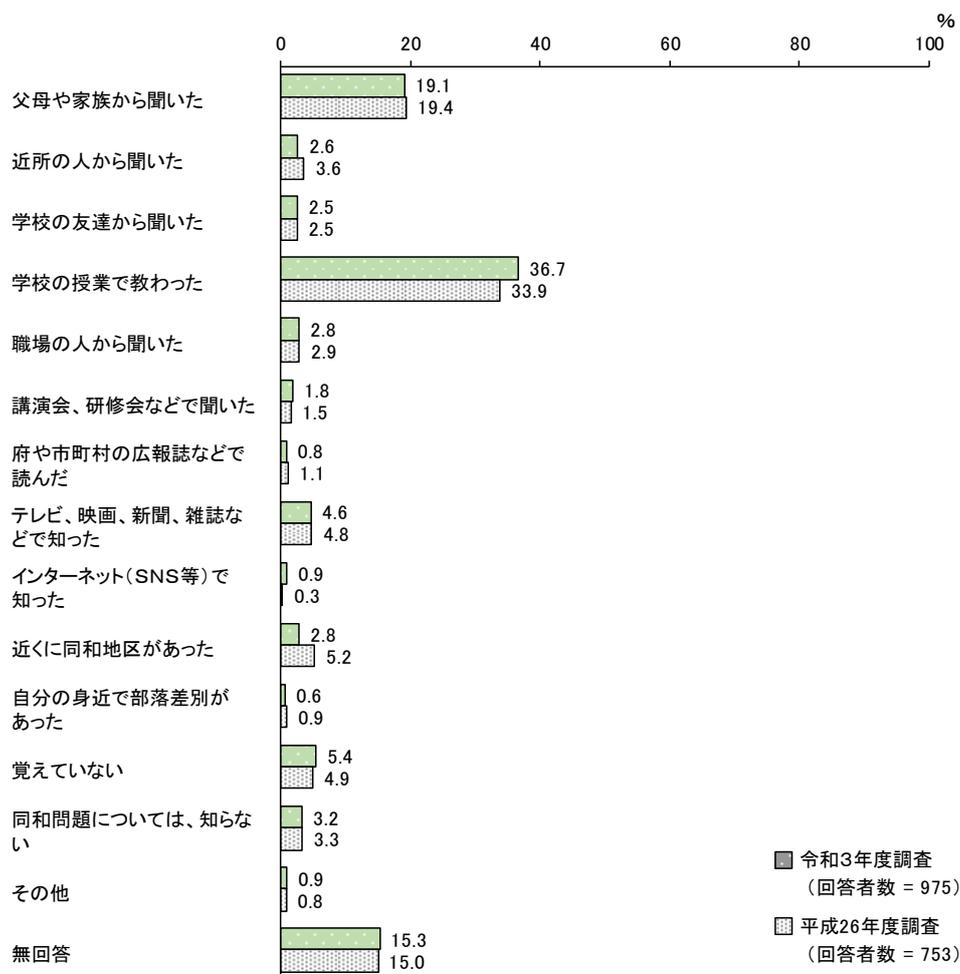


(5) 部落差別について

問 部落差別（同和問題）について、あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことがきっかけですか。（あてはまるもの1つに○）

「学校の授業で教わった」の割合が36.7%と最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」の割合が19.1%となっています。

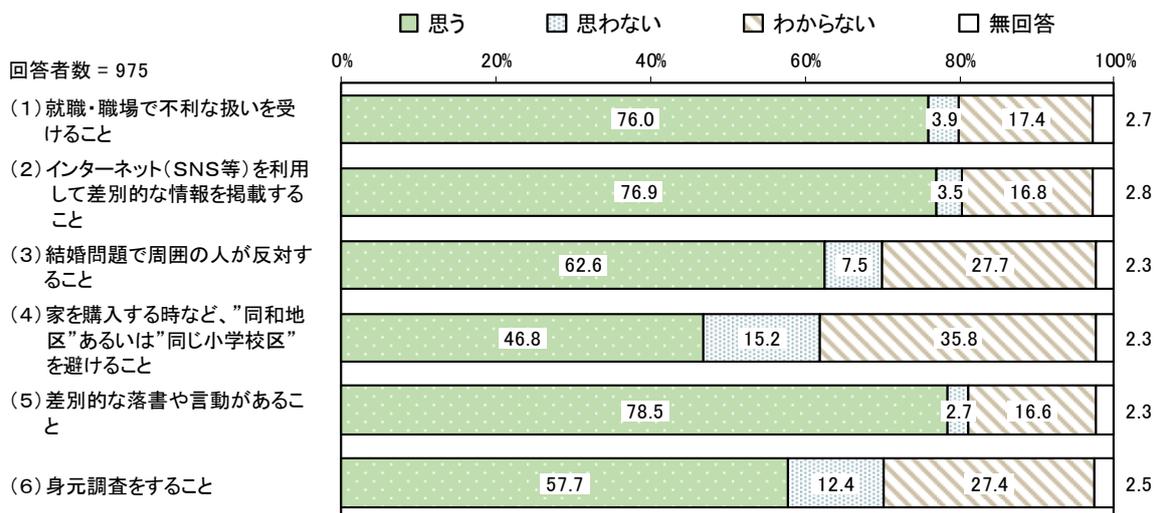
平成26年度調査と比べると、大きな差異はみられません。



問 部落差別（同和問題）について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『(5) 差別的な落書や言動があること』で78.5%と最も高く、次いで『(2) インターネット(SNS等)を利用して差別的な情報を掲載すること』で76.9%となっています。

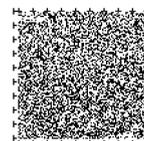
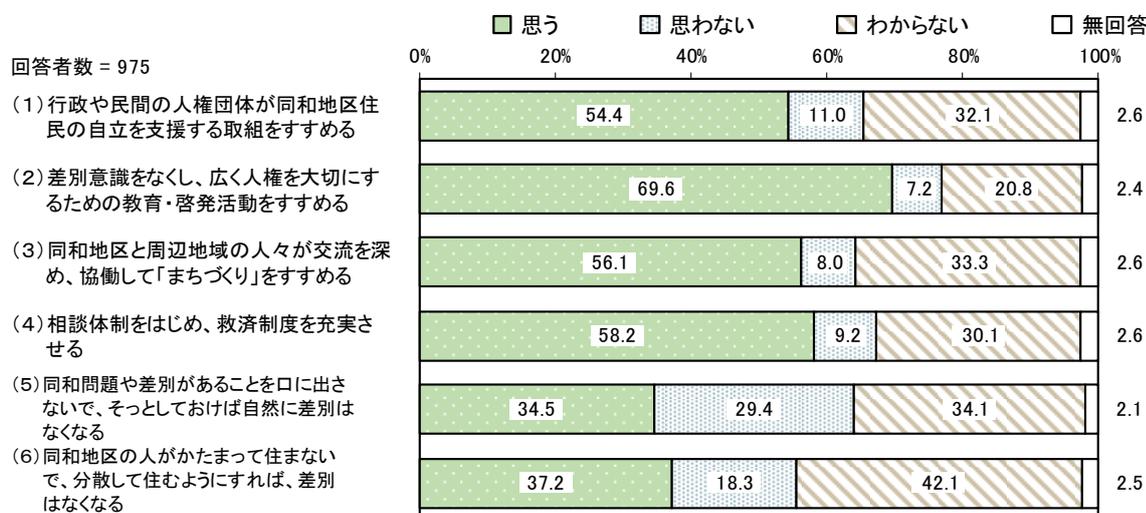
一方、「思わない」の割合は、『(4) 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること』で15.2%と最も高く、次いで『(6) 身元調査をすること』で12.4%となっています。



問 部落差別（同和問題）を解決するために、以下のことが必要、あるいは以下の意見は正しいと思えますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『(2) 差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる』で69.6%と最も高く、次いで『(4) 相談体制をはじめ、救済制度を充実させる』で58.2%となっています。

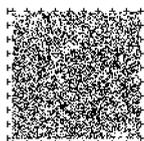
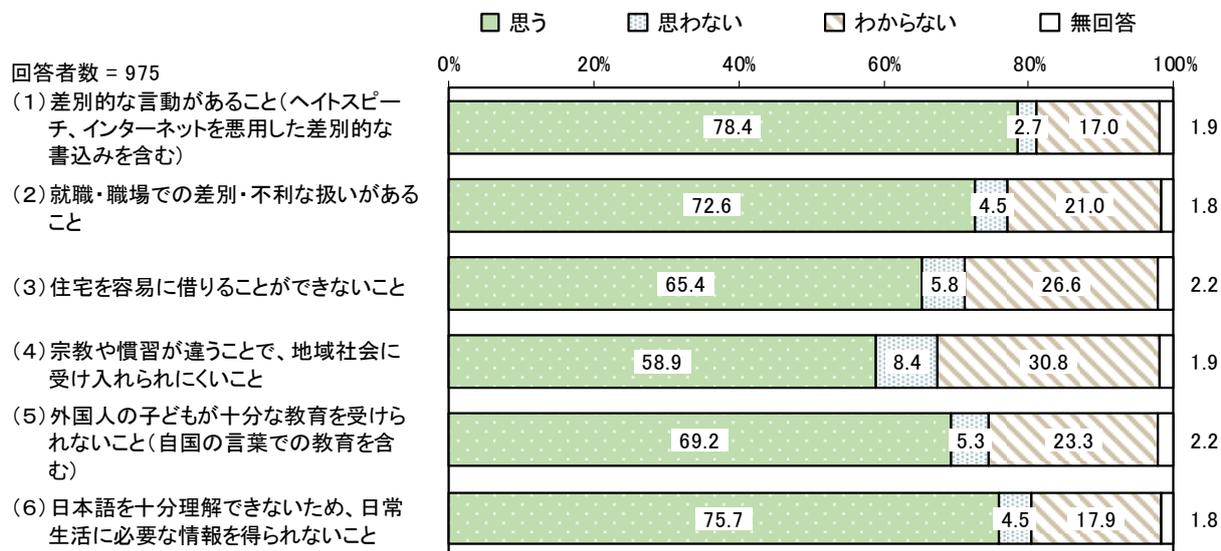
一方、「思わない」の割合は『(5) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる』で29.4%と最も高く、次いで『(6) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で18.3%となっています。



(6) 外国人の人権について

問 外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(1) 差別的な言動があること(ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む)』で78.4%と最も高く、次いで『(6) 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと』で75.7%となっています。

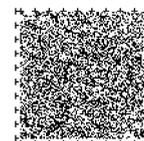
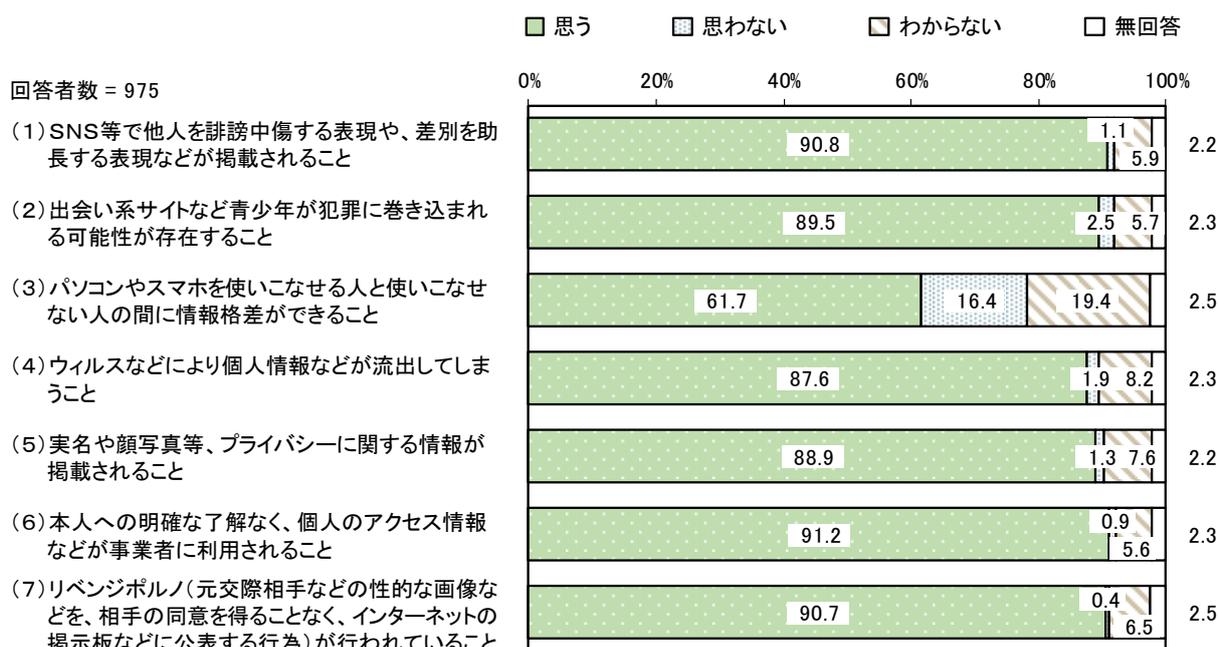


(7) インターネットにおける人権について

問 インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(6) 本人への明確な了解なく、個人のアクセス情報などが事業者に利用されること』で91.2%と最も高く、次いで『(1) SNS等で他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現などが掲載されること』で90.8%となっています。

一方、「思わない」の割合は『(3) パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること』で16.4%と最も高くなっています。

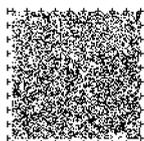
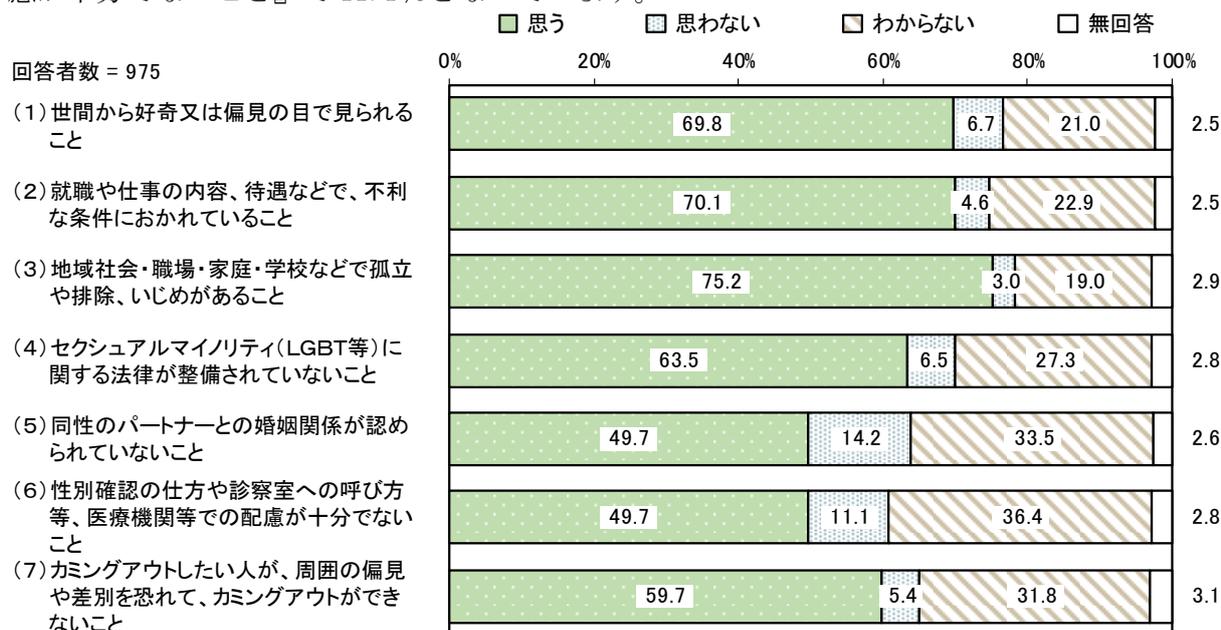


(8) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について

問 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思えますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『(3) 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること』で75.2%と最も高く、次いで『(2) 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること』で70.1%となっています。

一方、「思わない」の割合は『(5) 同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと』で14.2%と最も高く、次いで『(6) 性別確認の仕方や診察室への呼び方等、医療機関等での配慮が十分でないこと』で11.1%となっています。

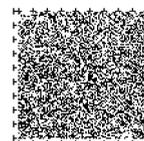
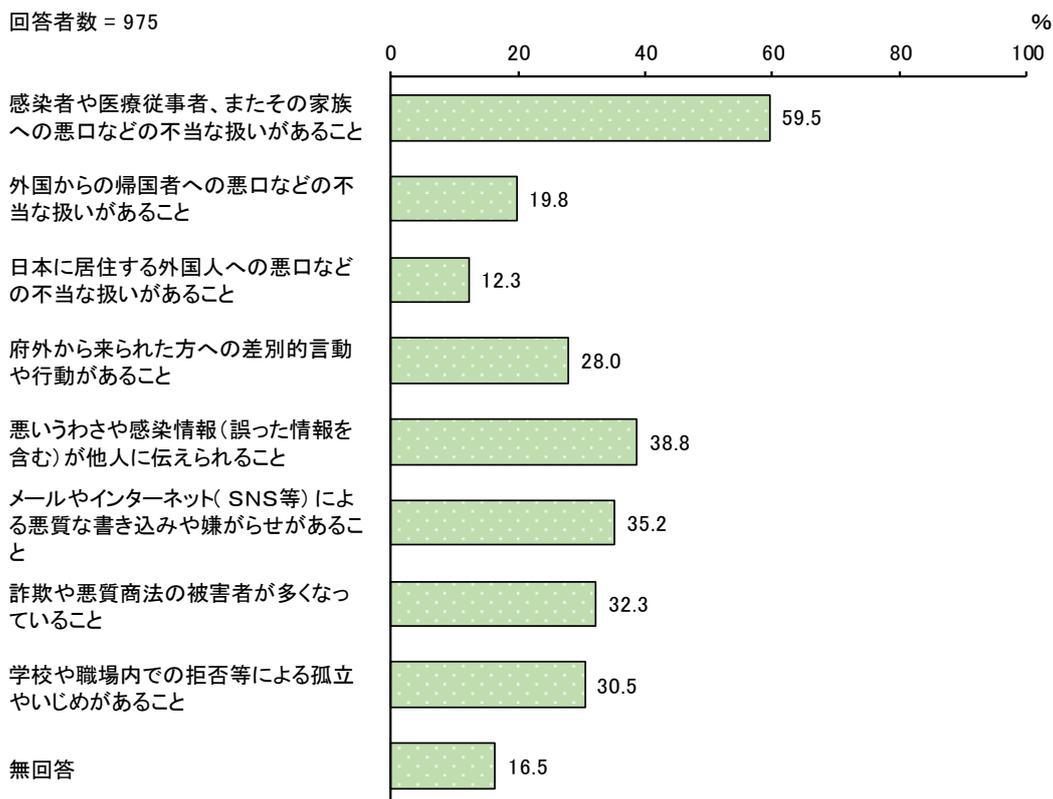


(9) さまざまな人権問題について

問 新型コロナウイルス感染症に関し、以下のようなことを見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

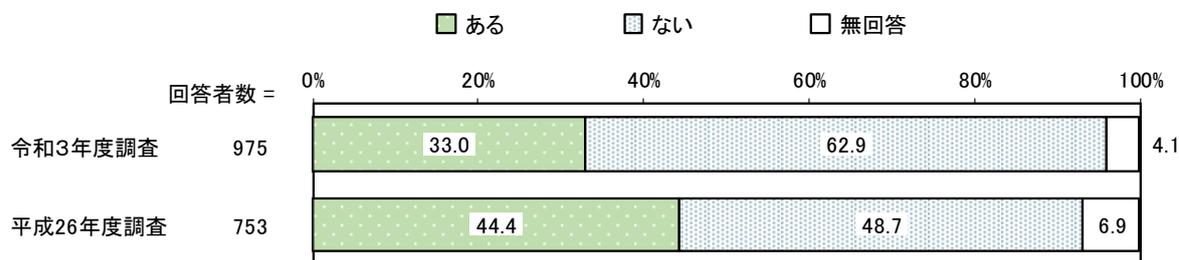
「感染者や医療従事者、またその家族への悪口などの不当な扱いがあること」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「悪いうわさや感染情報(誤った情報を含む)が他人に伝えられること」の割合が 38.8%、「メールやインターネット(SNS等)による悪質な書き込みや嫌がらせがあること」の割合が 35.2%となっています。

回答者数 = 975



問 あなたは、貧困や差別を是正したり、平等を実現するための特別な措置がやりすぎであるとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

「ある」の割合が33.0%、「ない」の割合が62.9%となっています。
 平成26年度調査と比べると、「ない」の割合が14.2ポイント増加しています。

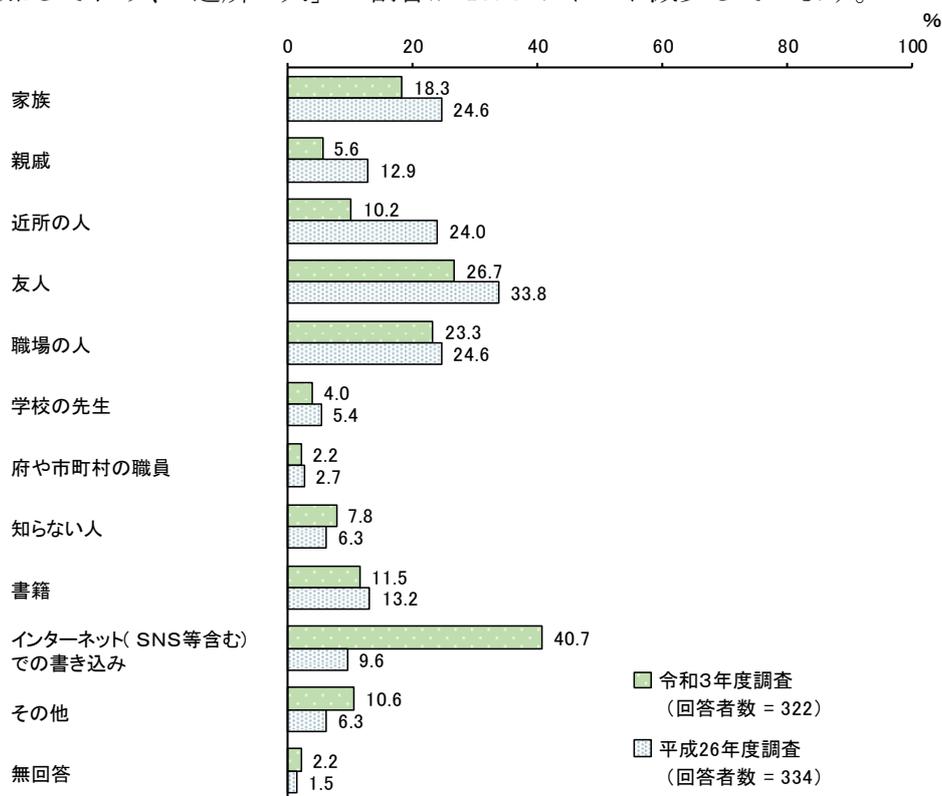


※平成26年度調査は、同和対策についての質問です。

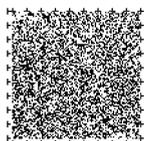
問 「ある」と答えた方にお聞きします。
 それは誰からですか。(〇はいくつでも)

「インターネット(SNS等含む)での書き込み」の割合が40.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が26.7%、「職場の人」の割合が23.3%となっています。

平成26年度調査と比べると、「インターネット(SNS等含む)での書き込み」の割合が31.1ポイント増加しており、「近所の人」の割合が13.8ポイント減少しています。



※平成26年度調査は、同和対策についての質問です。



茨木市 人権問題に関する市民意識調査
報告書
【概要版】

令和4年3月

発行：茨木市 市民文化部 人権・男女共生課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

電話 072-620-1640

FAX 072-620-1725

Eメール jinken@city.ibaraki.lg.jp

